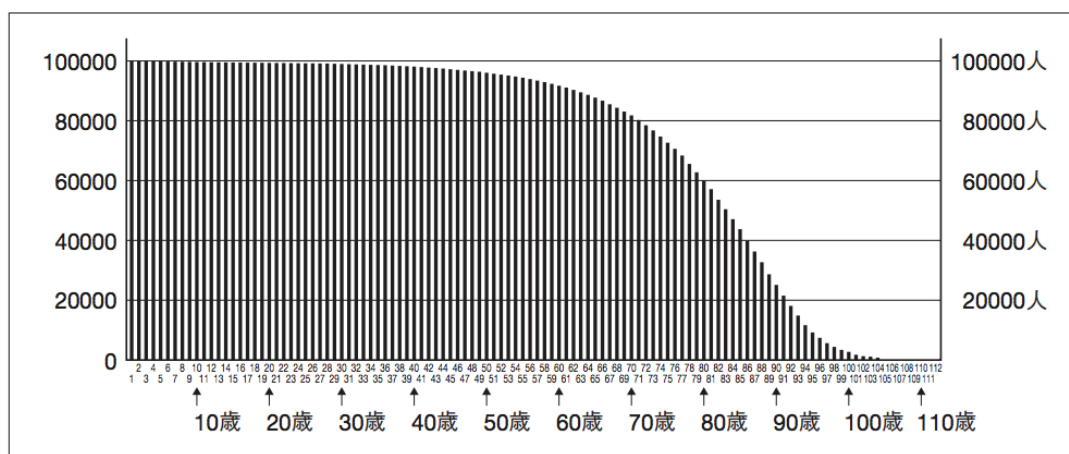
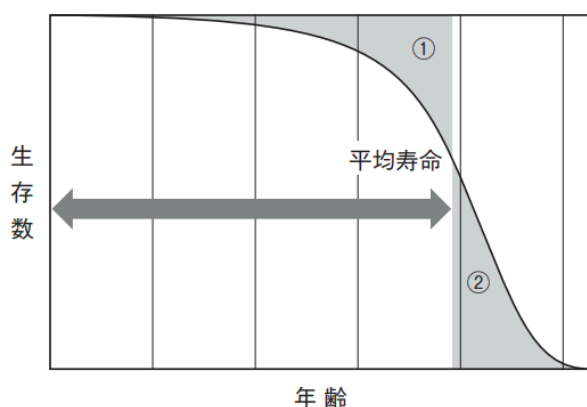


<補足>平均寿命及び健康寿命の計算方法について

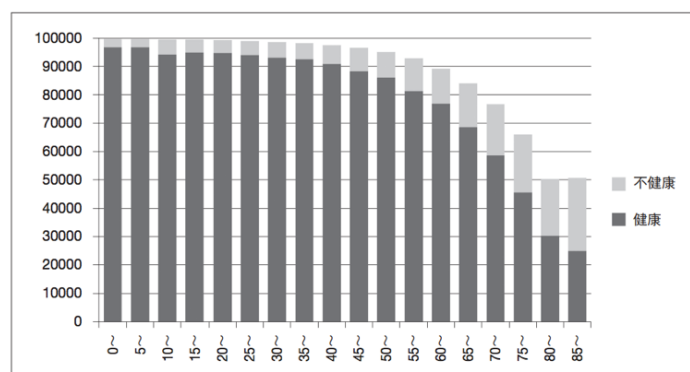
平均寿命はある年（今回は 2015 年）の年齢別死亡率を用いて生命表によって計算される。具体的には、10 万人が誕生したとして、0 歳の死亡率から 1 歳の誕生日での生存数が計算され、さらに 1 歳の死亡率から 2 歳の誕生日での生存数が計算される。そのようにして、図補足-1 のような生存数曲線を描くことができる。次に、図補足-2 に示すように、①と②の面積が等しくなる年齢を求める（つまり、生存者と死亡者の割合が等しくなる年齢）。健康寿命の算定では、健康な人のみの平均寿命を求める。今回は、「日常生活動作が自立している」人として、介護保険において要介護 2 以上の認定を受けていない人を健康とみなして計算した。具体的には、平均寿命を求める際に用いた生存数曲線（図補足-1）に健康割合を掛けて描いた健康な人の生存数曲線（図補足-3）を用いて、図補足-2 が示す方法で健康寿命を求めた。



図補足-1：年齢別死亡率から計算した生存数曲線



図補足-2：年齢別死亡率から計算した生存数曲線



図補足-3：健康な人の生存曲線

【参考文献】

1. Ikeda N, Inoue M, Iso H, Ikeda S, Satoh T, et al. (2012) Adult Mortality Attributable to Preventable Risk Factors for Non-Communicable Diseases and Injuries in Japan: A Comparative Risk Assessment. PLOS Medicine 9(1): e1001160.
2. Metrics: Population Attributable Fraction (PAF)
https://www.who.int/healthinfo/global_burden_disease/metrics_paf/en/
3. 健康日本 21(第2次)における健康寿命の算定 <http://toukei.umin.jp/kenkoujyumyou/>
4. 健康寿命の算定方法と日本の健康寿命の現状
https://www.jstage.jst.go.jp/article/shinzo/47/1/47_4/_pdf